JET Power Chairs

Jet 3 ジェット 3

取扱説明書

注意:
ご使用の前に必ずこの
取扱説明書に目を通し、
その指示に従ってください。

Pride Mobility Products Corp.

Stylish Design and Premium Performance

株式会社 アルケアコーポレーション

www.alcarecorp.co.jp

Alcare

C O N T E N T S

I. **始めに** 4

II. **安全のために** 5

III. **ジェット３** 14

IV. **組み立て** 19

V. **快適に使用していただくための調整** 20

VI. **バッテリーと充電** 25

VII. **操作** 29

VIII. **お手入れとメンテナンス** 33

IX. **保証** 38

I. 始めに

安全性

ご購入いただきましたジェット3　を操作・走行する前に、必ずこの説明書のすべてに目を通し、すべての指示に従って正しい操作・走行をしてください。説明書の記載について理解できない場合、あるいは操作方法について更に情報が必要な場合にはご購入の販売店、またはアルケアコーポレーション・サポート係(0120- 309-313)にお問い合わせください。

この説明書で使用されている下記の記号は、危険、警告および注意を意味します。必ずすべてに目を通し、理解してからご使用ください。

危険　この説明書の注意を無視した場合、死亡または重傷を引き起こします。

警告　この説明書の警告を無視した場合、死亡または重傷を引き起こす可能性があります。

注意　この説明書の注意を無視した場合、けがまたは物的被害を引き起こす可能性があります。

※　安全性を無視した使用から生じる損害・けが・事故などに対して当社は一切責任を負いません。また、この説明書に記載されている指示、本体に添付された警告を守らないことから生じた損害・けが・事故などに対しても当社は一切責任を負いません。

製品購入後の注意

1. **使用者の変更がある場合は、ご使用前に必ずご購入の販売店、またはアルケアコーポレーションにご連絡ください。**
2. **購入後に改造、変更、各種部品や弊社の認めていないオプションの取付は行わないでください。**
3. **製品に貼られた危険、警告、注意のシールの指示に従ってください。また本体に貼られているシールははがさないでください。**
4. **操作するときは安全を心がけ、危険な行為や注意不足を避けるよう心がけてください。**

その他の注意

この取扱説明書は作成時点での最新仕様と最新情報に基づいており、製品が仕様変更された場合、この説明書の説明図とご購入商品との間に若干のくい違いが生じる場合がありますのでご了承ください。それが原因で操作や機能にご不明な点がある場合は、販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係までお問い合わせください。

この説明書の指示に従ってもトラブルが解決しない場合には、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係にお問い合わせください。

米国プライド社国内代理店
アルケアコーポレーション・サポート係
〒270-0145千葉県流山市名都借996番地
TEL:（04）7140-0017　FAX:（04）7140-0018
フリーダイヤル:（0120）309-313
mail@alcarecorp.co.jp

ＩＩ．　安全のために

本体に張ってあるシールについて
本体に張ってあるシールは注意するべき事項、警告、危険行為についての表示です。シールの意味を十分理解し、その内容に必ず従ってください。

バッテリーには有毒な物質が含まれています。液補充の必要がない密閉型のバッテリーをご使用し、取扱には十分に気をつけてください。

米国の電磁波検査EMI-RFIにおいて20V/mのレベルをクリアしています。

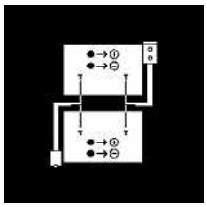
取扱説明書を読み、その指示に従ってください。

シートの最大積載(使用者および身に着けたものの)重量。

車輪固定(ドライブ)状態。

車輪開放状態にする場合は、必ず平坦な地面で行ってください。

車輪開放(ニュートラル)状態。



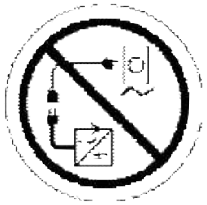
バッテリーを接続する場合、赤のケーブルを＋に、
黒のケーブルを－につないでください。

ＩＩ．　安全のために

転倒防止後輪を取り外さないでください。

携帯電話やノートパソコンはジェット３の電源を切ってからご使用ください。

雨、雪、氷、塩分を含む空気にはなるべくさらさないでください。汚れたり濡れたりした場合は、必ず乾いた布でふき取り、いつも清潔にするよう心がけてください。



怪我、事故、製品の故障の原因となりますので、延長コードや蛸足配線での充電はやめてください。

II. 安全のために

注意 必ずこの説明書のすべてに目を通し、内容を理解してから操作してください。

ジェット３は最先端の機能を備えた電動車椅子です。アルケアコーポレーションはこの他にもご使用者に合わせた製品を取り揃えております。

製品の選択をする際は専門のスタッフのアドバイスを受けることをお勧めします。(例: 販売店、医師、作業療法士、ケアマネージャー)

また、選択の際はご使用者の身体状況に加えて、ご使用の環境（使用する道路環境、充電場所、保管場所等)にも十分配慮するようにしてください。

操作に慣れるまでの練習

1. ご自宅周辺の身近な場所で、練習をしてください。
2. 付添いの方とともに練習を行うようにしてください。
3. 操作に慣れるまでは最低速で使用してください。
4. 坂道は避けるようにしてください。
5. 小さな段差でも避け平坦なルートを選択してください。

以下の指示は製品の機能性や安全性を損なわないためのものです。

改造について

ジェット３は最高の機能性と装備を持っています。改造や変更はジェット３の機能や安全性を損なう可能性があります。

警告 故障や事故の原因になりますので、改造、変更、各種部品や弊社の認めていないオプションの取付は行わないでください。

取り外せるパーツについての注意

警告 本体から取外したり、引き抜いたり出来る部分を装着しないまま使用しないでください。

電磁波について

携帯電話やラジオ等の電波を出す機械、テレビ局やラジオ局のアンテナが強い電波を出す施設の周辺では、電磁波が電動車いすの動作に影響を与える場合があります。

Ⅱ. 安全のために

ご使用前の確認

ご使用の製品を十分に理解することは大変重要です。安全にスムーズに使用していただくために、ご使用前には安全チェックを行うことをお勧めします。詳細は「Ⅷ.お手入れとメンテナンス」を参照してください。

ご使用前に以下のチェックを行ってください。

- タイヤにひびが無いか。溝がすり減っていないか。
- 配線はしっかり差し込まれているか。腐食したりしていないか。
- 接続部はきちんとはまっているか。
- ブレーキはきちんと作動するか。
- バッテリーはきちんと充電されているか。

もし問題がある場合は、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーションにお問い合わせください。

最大積載量

許容される最大積載重量は135kgです。

> **警告** 事故や故障の原因となりますので最大積載量を越えた積載はおやめください。
>
> 使用者以外の人を乗せたまま、走行しないでください。

坂道での注意

最近では、車いすで走行するための緩やかなスロープが少しずつ増えてきていますが、スロープの傾斜や幅によっては操作にコツがいる場合があります。

- 下り坂や傾斜面での通行には十分に気をつけてください。
- 曲がり角では後輪がコーナーや縁石に乗り上げてしまうことがありますので、出来るだけ注意して曲がるようにしてください。
- 下り坂では速度が出過ぎないようにゆっくりと注意しながら通行してください。
- 急停車や急スタートは避けるようにしてください。

ＩＩ．　安全のために

坂の途中ではなるべく停止しないようにしてください。どうしても坂道で停止しなければならない場合、再度動き出すときにはゆっくりと慎重に加速してください。
下り坂では最低速にセットし前進のみで走行してください。
もし動き出して思ったより速度が速い場合は、速やかにジョイスティックから指を外し完全に停止させ、再度ごく浅くジョイスティックを押して速度を調整してみてください。

坂道を通行する際は十分に注意して操作してください。

転倒の可能性がありますので坂道をジクザクに登ったり、横切ったりしないでください。

危険　雪、氷、草の生えている等の滑りやすい坂道の通行は決してしないでください。

少しでも傾斜のある場所では、車輪開放レバーを決して解除(前に倒した状態に)しないでください。車体の重量で動き出す可能性があり非常に危険です。

図1．の推奨登坂角度を越えた傾斜の通行は絶対にしないでください。

すべての坂道が電動車いすの通行に適した傾斜とはいえません。 図1.は 登坂推奨角度です。表記されている角度を越えた傾斜の通行は故障や事故の原因となりますので絶対にやめてください。

ここに示した性能はあくまでも指針です。実際には、斜面走行時の電動車いすの登坂性能はお客様の体重や速度、斜面の角度などによって変化します。

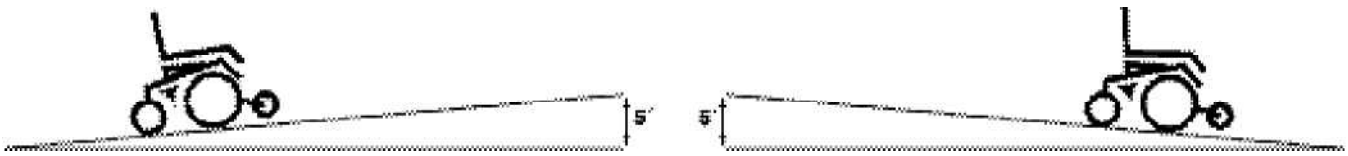


図1．最大推奨登坂角度

警告　　図1.の推奨登坂角度を越えて走行した場合の故障、事故、怪我につきましては 、すべてご使用者の責任となります。

II. 安全のために

公共の道路での使用について

危険 電動車いすでのほとんどの事故は車道で起きています。必ず歩道を通行し、車道では使用しないでください。
車のドライバーにとって、電動車いす及び電動車いすのシートに腰掛けた使用者は非常に認識しにくいといえます。混雑した場所での使用は避け、交通ルールを守り、十分な注意をはらって操作してください。

障害物について

危険 盛り上がった路面、崖、溝階段等の落下、転倒の危険性がある場所には近づかないでください。

4cm以上の段差の上り下りはしないください。

段差の上り下りは必ず前進で行ってください。

段差の上り下りの際は、段差に対して垂直に通行するようにしてください。
(図2a. 図2b. 参照)

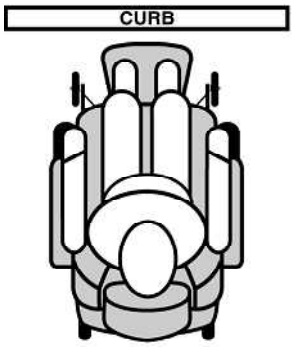


図2a. 正しい段差の上り下り

図2b 間違った段差の上り下り

酷な条件での使用について

危険 凍結した路面、滑りやすい路面での走行は避けてください。ジェット3の性能や安全性に悪影響を与えるだけでなく、事故やけがの原因になります。

雨・雪・霧などの悪天候下での走行・保管は避けてください。電気部品の故障や走行不能になる可能性があります。

II. 安全のために

車輪開放レバー

車輪開放レバーを解除すると、ジェット３を手押しできる状態になります。 詳しい方法については 「III. ジェット３」をご覧ください。

危険	車輪開放状態にすると電磁ブレーキ解除されます 少しでも傾斜がある場所では車輪開放状態(車輪開放レバーを前に倒した状態)にしないでください。車体自身の重みで動き出す可能性があります。 車輪開放状態のままシートに座ったり、前後に立ったりしないでください。 事故やけがの原因になります。 手押しをする時以外は、車輪開放状態にしないでください。

階段とエスカレーター

ジェット３は階段やエスカレーターで使用するようには出来ていません。

警告	階段やエスカレーターでの使用はしないでください。貴方や貴方以外の方の怪我や事故原因になるおそれがあります。

ドアの出入り

- ドアが、押して開くのか、引いて開くのかを確認してください。
- ドアノブ、または取っ手を回してください。
- ドアを押して開く場合は、そのまま静かにゆっくりと前進させ、開けてください。
  引いて開く場合は、静かにゆっくりと後進させ、開けてください。

エレベーターの乗り降り

- エレベーターのドアに挟まれそうになった場合は、内ドアを手で押すか、サイドのフレームをエレベーターのドアに当てて閉まらないようにしてください。
- エレベーターのドアに買い物袋などの荷物が挟まれないように注意してください。

.

II. 安全のために

怪我を防ぐために、乗り降りの前に以下のことを行ってください。

- **電源をオフにしてください。「VII.操作参照。」**
- **車輪開放状態でないことを確認してください。「III.ジェット参照。」**
- **乗り降りを安定させるため、後輪キャスターを移乗する方向に向けてください。**
- **両側のアームレストをはね上げてください。**
- **フットプラットフォームをはね上げてください。**
- **乗り降りを行うときは車いすとの間をできるだけなくすようにしてください。**

危険 車いすが前に転倒し怪我の原因になりますので、出来るだけ深く腰掛けた位置からの移乗を心がけてください。

危険 車いすが転倒し怪我の原因になりますので、身体を支える目的にアームレストを使用しないでください。

危険 車いすが転倒し怪我の原因になりますので、フットプラットフォームには体重をかけないでください。

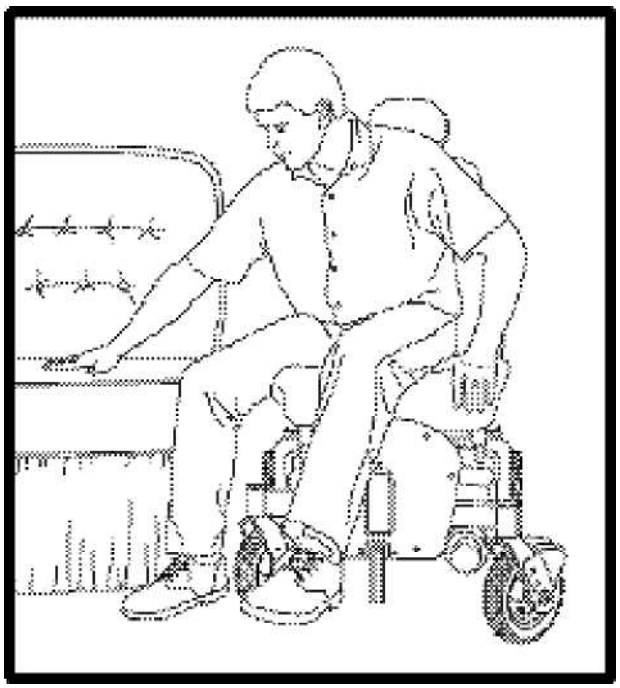


図4. 乗り降り

過酷な条件での使用について

凍結した路面、滑りやすい路面での走行は避けてください。ジェット３の性能や安全性に悪影響を与えるだけでなく、事故やけがの原因になります。

警告 雨・雪・霧などの悪天候下での走行・保管は避けてください。電気部品の故障や走行不能になる可能性があります。

II. 安全のために

バッテリー

バッテリーを扱う際は、以下の注意をお守りください。

バッテリーは重量がありますので、持ち運ぶときには腰を痛めたり怪我をしないように、十分注意してください。

バッテリーの端子やその周辺は鉛、または鉛化合物が付着している場合があります。触れた後は必ず手を洗うようにしてください。

警告 事故や故障の原因となりますので、バッテリーは凍らせないようにしてください。また、凍ってしまったバッテリーは決して充電しないでください。

赤いケーブルは(＋)、黒いケーブルは(－)の端子へ必ずつないでください。不良のケーブルは速やかに交換してください。

バッテリーの廃棄とリサイクル

バッテリーの故障やバッテリーの寿命の際は、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーションに直ちにご連絡ください。

輸送時の注意

輸送する場合は、以下の注意をお守りください。

自動車で輸送する場合に、ジェット３のシートを座席代わりに使用しないでください。

警告 自動車で輸送する場合に、車体が動かないようにしっかりと固定してください。

誤動作を防ぐには

警告 誤動作による怪我や事故を防ぐため、一定の時間を越えて停止する場合は、キーを抜き電源を切るようにしてください。

III. ジェット３

ジェット３

ジェット3は、シート部とパワーベース部の2つのパートからできています。図5、6参照。 シート部はアームレスト、シート背もたれ、シート座面などからからできています。構成されています。

パワーベース部は二つのモーター/ブレーキ、駆動輪、転倒防止前輪、後輪キャスター、バッテリー、各種配線などが含まれます。

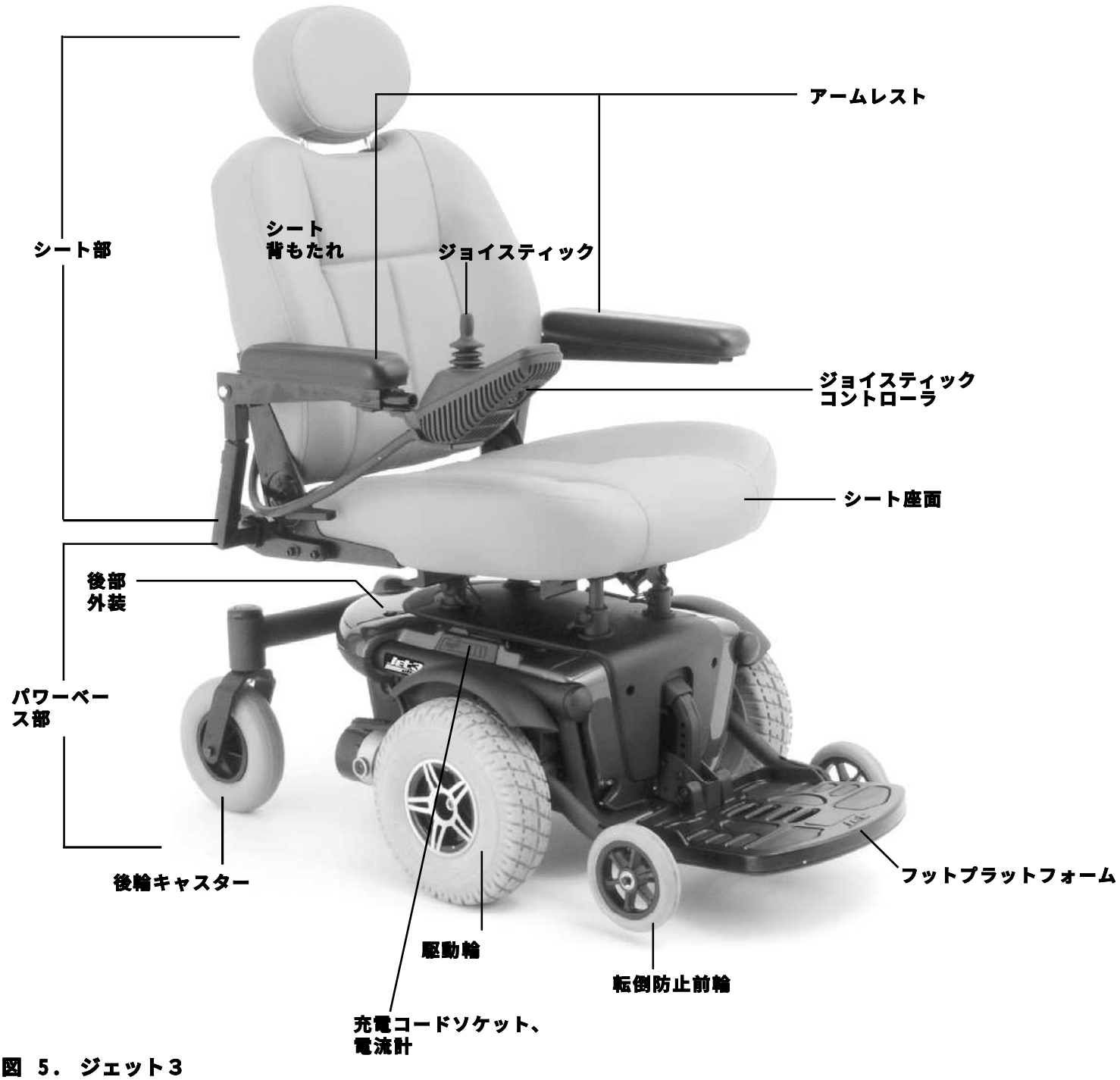


図 5. ジェット３

III. ジェット３

ジェット３仕様	
サスペンション:	アクティブ・トラック
駆動輪:	25 cm 空気入り
後輪キャスター:	20 cm ノンパンク
転倒防止前輪:	12.5 cm ノンパンク
最高速度:	6 km/h*
推奨登坂角度:	5 °
最大降坂角度:	5 °
段差乗越え高:	5 cm
ブレーキ:	インテリジェント電磁ブレーキ
溝乗越え幅:	6.25 cm
最小回転半径:	46.25 cm *(フットレストを除く)*
最小回転直径	82.5 cm *(フットレストを除く)*
サイズ:	長さ: 88.75 cm *(フットレストを除く)* 全長: 96.25 cm *(フットレストを含む)* 幅: 57.5 cm
シート:	ハイバックグレイシート
モーター:	中輪駆動×2
バッテリー:	12V 32amp ×2
連続走行距離:	40km ／1充電*
充電器:	4-amp，搭載型
コントローラ:	50-amp PG VSI コントローラ
最大荷重量:	135 kg
重量:	ベース部: 44 kg ハイバックグレイシート: 15 kg バッテリー: 11 kg ×2

*利用者の体重や路面環境に左右されます

III. ジェット３

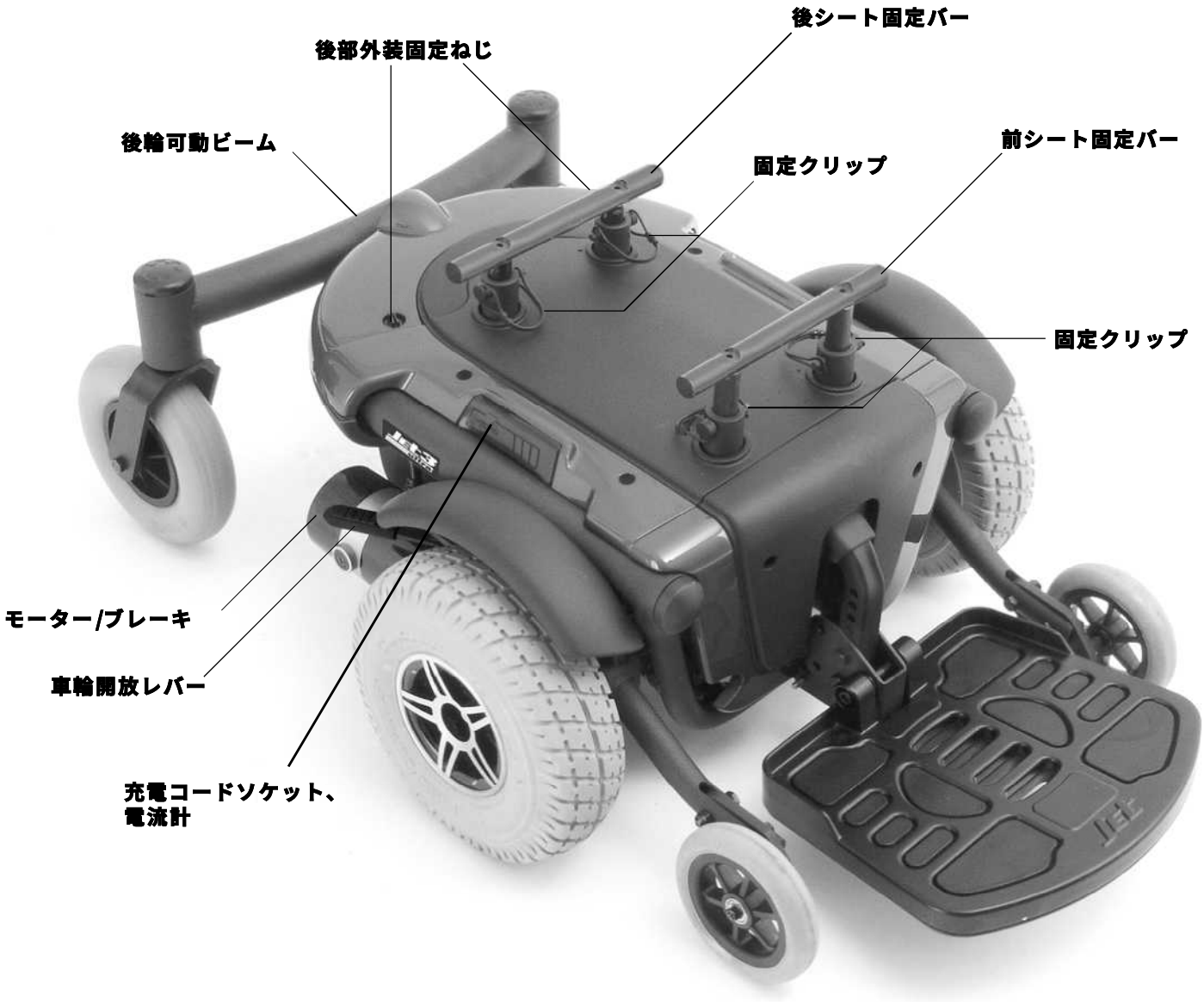


図6． ジェット３　パワーベース部

III. ジェット３

電気系統

ジェット３の電気系統はパワーベース部にあります。
パワーベース部後の右側に電流計、充電ソケットなどがあります。.バッテリートレイの正面にはブレーカーがあります。 パワーポッドには充電制御コネクタとモーターコネクタを差し込みます。図7参照.

電流計: 電流計は充電時の電流の量を表示します。「VI.バッテリーと充電」参照。

充電ソケット: 充電用コードを差し込むソケットです。「VI.バッテリーと充電」参照。

ブレーカー: ジェット３の機能を過負荷から守るメインサーキットブレーカーです。バッテリーやモーターに過度の負荷が加わったときブレーカーが落ちることでモーターや電気系統のダメージを防ぐ役目があります。ブレーカーが落ちた場合、そのまま動かさず１分程度放置した後、再度ブレーカーのボタンを押し、電源ボタンを押して電源を入れてください。 ブレーカーが頻繁に落ちる場合は、購入店またはアルケアコーポレーションまでご連絡下さい。

モーターコネクタ: モーターとコントローラをつなぐコネクタです。このコネクタには赤と黄色のラベルが付いていて、パワーポッドのソケットの赤と黄色のラベルにそれぞれ対応します。

バッテリーコネクタ: バッテリーとコントローラをつなぐコネクタです。

充電制御コネクタ: 充電中に動作しないように制御します。「VII.操作」参照。

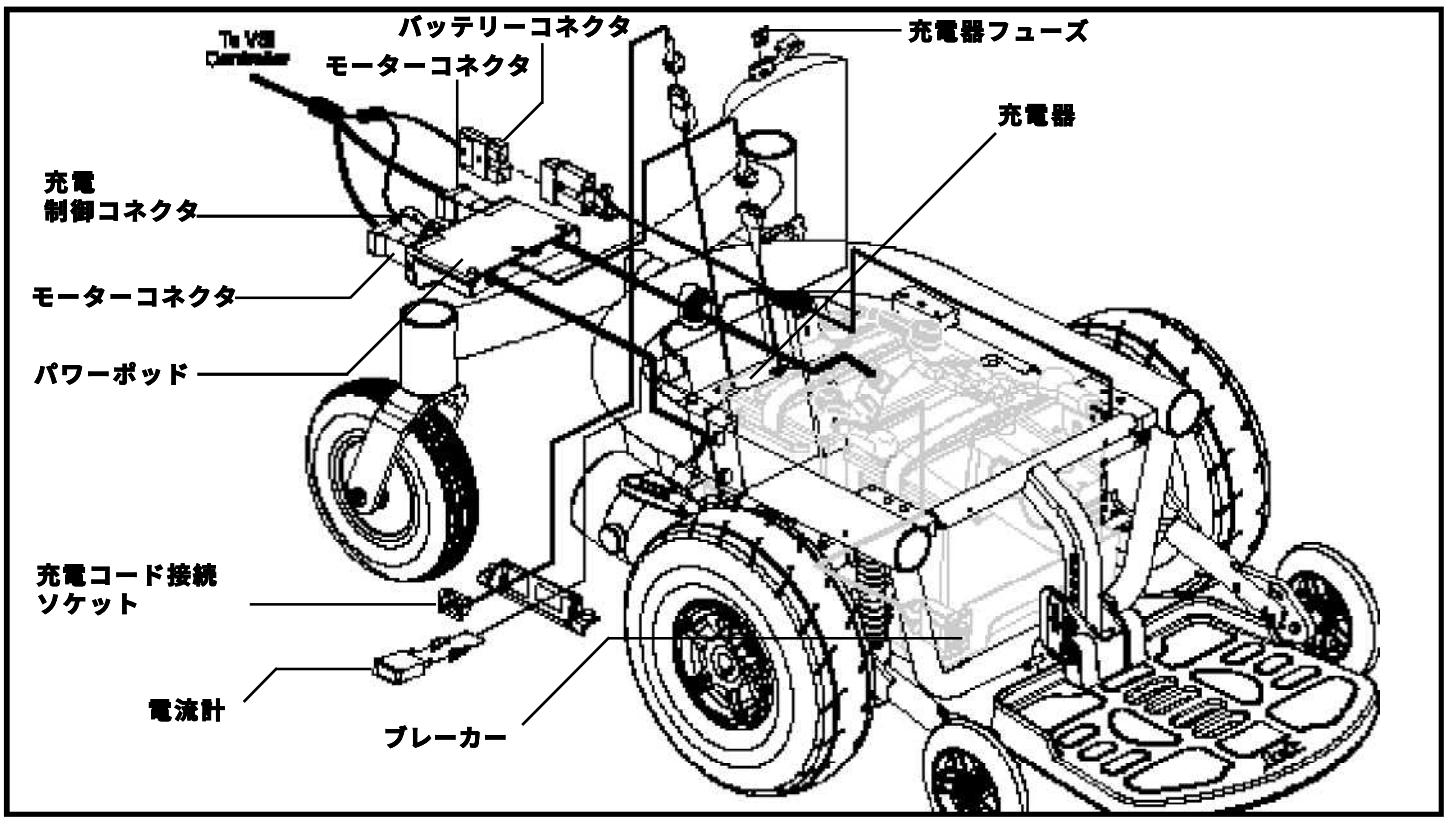


図7． ジェット３　電気系統

III. ジェット３

車輪開放レバー
車輪開放レバーを解除すると車輪がギヤ・モーターから解除されジェット３を手で押して移動することが出来ます。

危険　介助者がいない場合は車輪開放状態にしないでください。
車輪開放状態ではジェット３に乗らないでください。車輪にロックがかかっていないため、勝手に動き出す可能性があります。
たとえ緩やかな坂道でも、傾斜のある路面では車輪開放状態にしないでください。

車輪開放レバーの使用方法
1. 車輪開放レバーを内側に押し込むとと走行可能状態になります。図8参照。
2. 車輪開放レバーを外側にひらくと車輪開放状態になります。図9参照。

車輪開放レバーが動きにくいときは電動車いすをかすかに前後に動かしてみてください。

注意　車輪開放状態ではあらゆるブレーキのシステムが効かないことを理解してください。

図8．　車輪ロック状態(走行可能)

図9．　車輪開放状態(走行不可能)

Ⅳ. 組み立て

シートの取付

> **警告** 肘掛をつかんでシートを持上げないでください。跳ね上げ可能な構造になっていますのでバランスを失い、怪我や製品の故障の原因となる場合があります。

1. 前後のシート固定バーをお好みの高さにセットしてください。「V. 快適に使用していただくための調整」参照。
2. シートを持上げ、シート裏側の後固定フックを後シート固定バーにはめこんでください。(シートを後に傾けた状態でスライドさせるようはめこんでください。)
3. 前固定フックが前シート固定バーとかみ合いしっかりと固定されるまでシート前部押し下げてください。
4. 安全固定ラッチを下方に倒してロックしてください。図１１.参照。

> **警告** 使用する前に、安全固定ラッチがしっかりと下がって固定されているか確認してください。

5. コントローラーを肘掛にセットしてください。「V. 快適に使用していただくための調整」参照。
2. コントローラーのケーブルを挟み込んだり、引きずったりしないように注意しながら後部に接続してください。
3. 後部外装を取外し、コントローラーのケーブルを４本すべてつなぎ、後部外装を閉じてください。
4. コントローラーのケーブルがたるんだりしないようにプラスチックバンドなどで２箇所以上固定してください。

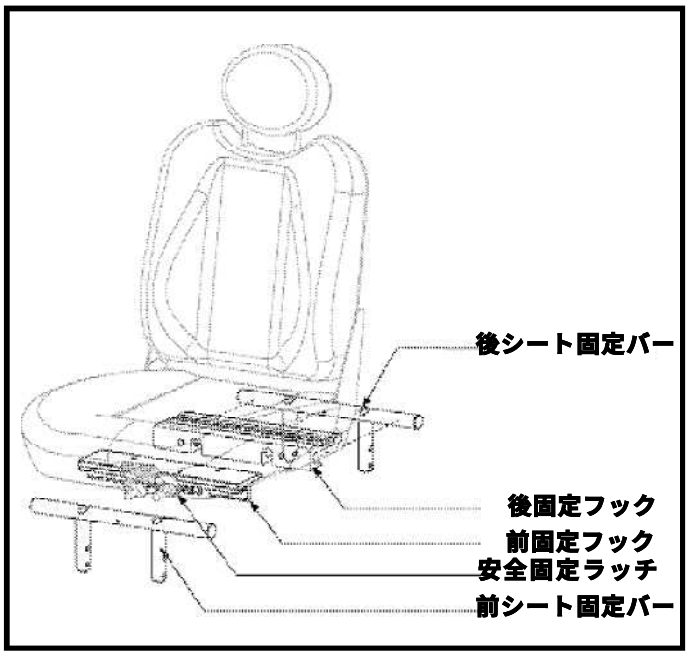


図10． シート固定システム

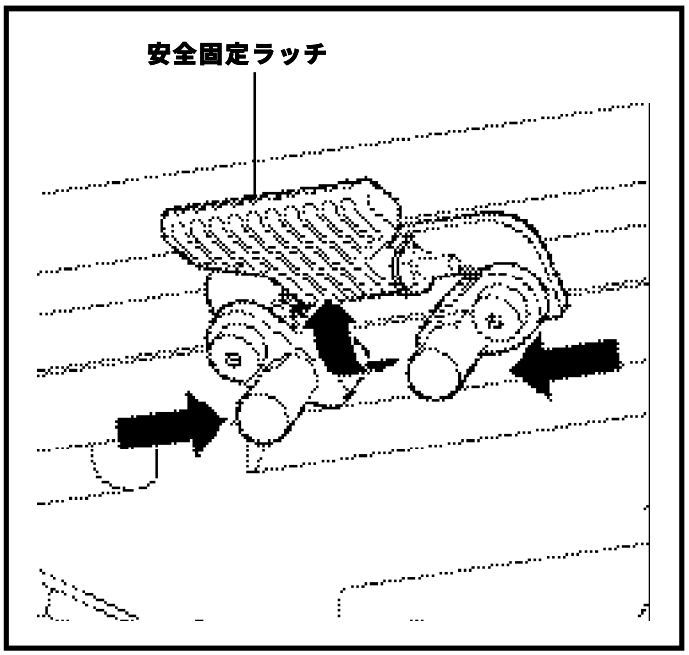


図11． 安全固定ラッチ

Ⅴ. 快適に使用していただくための調整

快適に使用していただくための調整

ジェット３は快適に使用していただくために、シート高、座面角度、シート前後位置、背もたれ角度、肘掛角度、フットプラットフォーム高・角度、コントローラーの位置などが調整できます。

警告

シート位置や付属品の取り付けは、場合によってはジェット３の機能を低下させる原因になりますので、販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係まで必ずご相談ください。

事故、怪我、故障の原因になりますので、分解部分を持上げるときは決して無理をしないでください。独りでは困難な場合、他の方に手伝ってもらってください。

事故、怪我、故障の原因になりますので、調整の際は電源を必ず切り、誰も製品に乗っていない状態で行ってください。

快適に使用していただくための調整の前に以下の道具を準備しください。

- 六角セット
- モンキースパナ
- ドライバ、ラチェット

シート高、座面角度の調整

前後のシート固定バーのどの調整穴に装着ピンを差し込むかによってシート高や座面角度が調整できます。

1. 電源を切ってください。
2. 後部トレイの左右の黒いプラスチックの固定ネジを緩めトレイを開き、コントローラーからのケーブルを４本すべてを抜いてください。
3. 安全固定ラッチを持上げてください。(P19 図11. 参照。)
4. 左右のラッチを中央に向け握りこみながらシート前部を持上げてください。シート前部がパワーベースのシート固定バーから外れます。
5. シート全体をかかえるようにして前方向へスライドするとシートが取外せます。
6. シート固定バーとシートポストを固定しているクリップを抜きシート固定バーを取外してください。(図12.参照。)
7. シート固定バーを再び差込み、お好きな高さの調整穴に合わせ装着ピン差しこんください。
8. シートを取外した逆の手順で取り付けてください。
9. 後部トレイにコントローラーケーブルを差し込んでください。

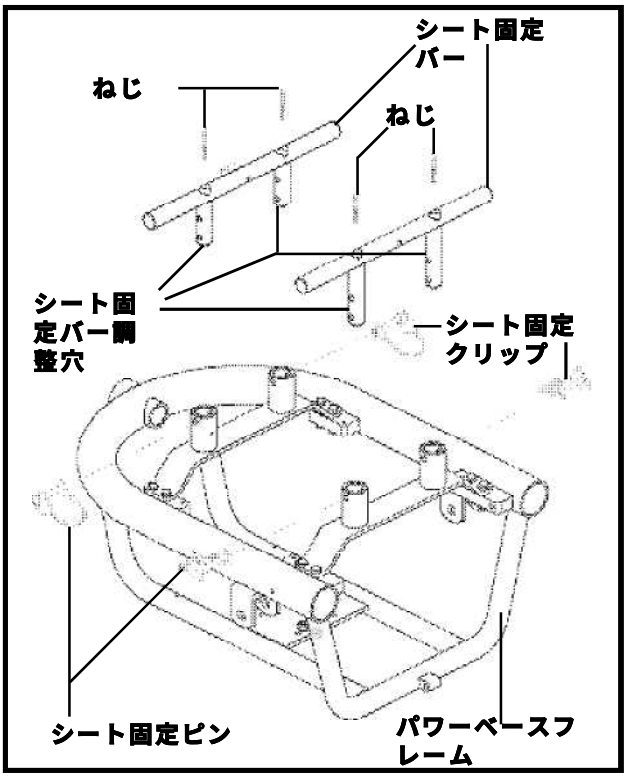


図12． シート固定バー

アームレストの高さ調整

1. アームレストの六角ねじを緩めます。図15.参照
2. 好みの高さにあわせてください。
3. 六角ねじを締め固定してください。

Ⅴ. 快適に使用していただくための調整

シート前後位置の調整

シートの前後位置を3段階で調節できます。

1. 電源を切ってください。
2. 後部外装を外しコントローラーケーブルを4本とも抜いてください。
3. シートを取外してください。
4. シート底にある前後の固定フックとシート底面を固定しているボルトをゆるめて外してください。
5. お好みの前後位置を確認しその位置でボルトを締め直してください。※この時、固定する穴の位置(前・真ん中・後)は必ず4箇所とも同じ位置にしてください。
6. シートを戻してください。
7. シート固定バーを再び差込み、お好きな高さの調整穴に合わせ装着ピン差しこんください。
8. シートを取外した逆の手順で取り付けてください。
9. コントローラーケーブルを差し込んで後部外装を閉じてください。

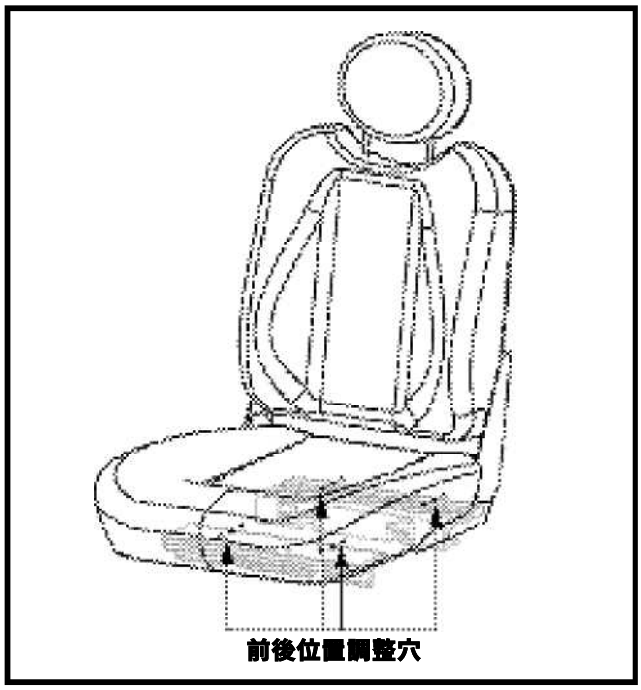


図20. 前後位置調整穴

背もたれ角度の調整

背もたれの角度を4段階（90°、102°、105°、107°)で調節できます。

1. アームレストを垂直に跳ね上げ、シート角度固定ねじを外してください。図21. 参照。
2. お好きな角度の穴に合わせ再びねじを差込みしっかりと締めてください。

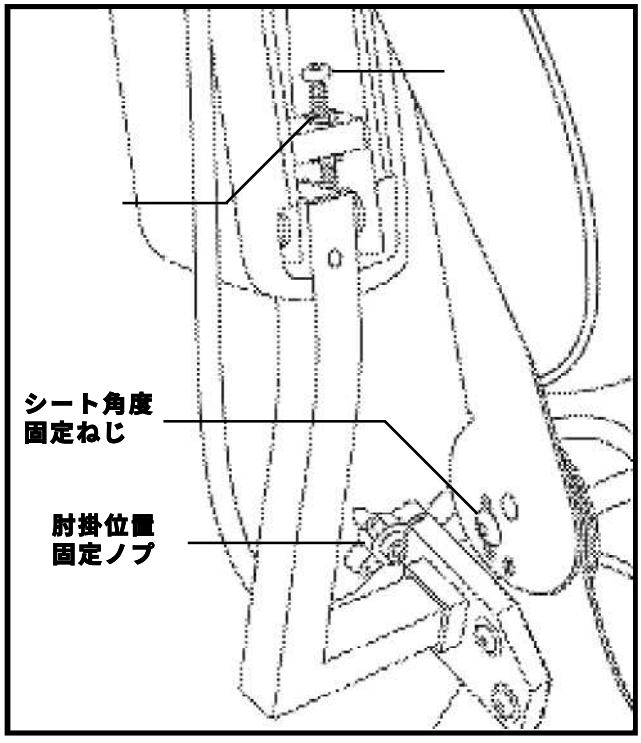


図21. 背もたれ角度調整

リクライニングシート

背もたれの角度をリクライニングレバーでも調整できます。

Ⅴ. 快適に使用していただくための調整

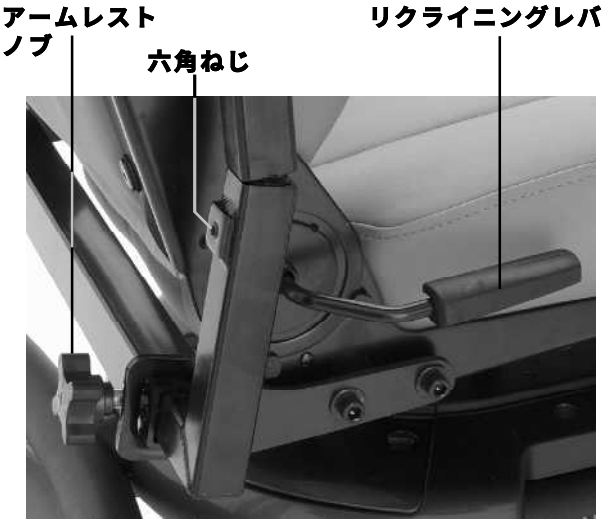


図15． シート角度調整

アームレストの角度調整

1. アームレストを垂直にはねあげます。図16.参照
2. 固定ナットを緩めてください。
3. アームレストの調整ねじを時計回りに回すとアームレストの前方が下がり、反時計回りに回すと前方が上がります。
4. 決めた位置で固定ナットを締めます。

フットプラットフォーム高さ調整

フットプラットフォームの高さを1.75cm 間隔で増減ができます。

1. フットプラットフォームの固定ピンを2本とも緩めて取り外します。
2. 好みの高さに調整してください。
3. 再び固定ピンを差込み、しっかりと締め付けます。

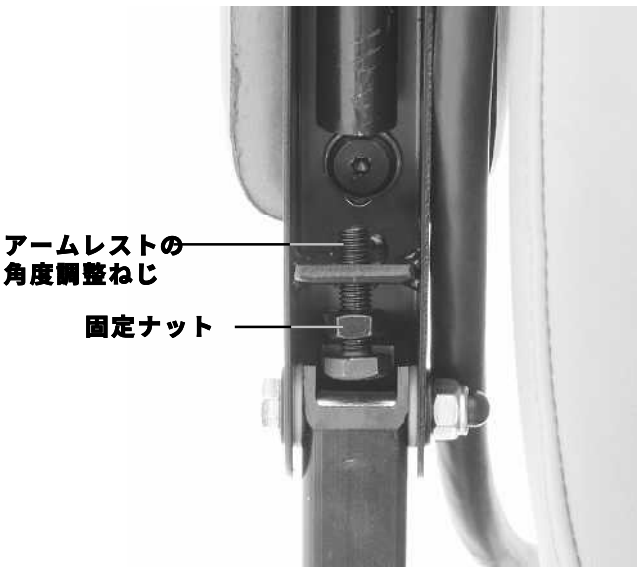


図16． アームレストの角度調整

フットプラットフォームの前後調整

1. フットプラットフォームの固定ピンを2本とも緩めて取り外します。
2. 前にするか奥にするか調整します。
3. 再び固定ピンを差し込み、しっかりと締め付けます。

フットプラットフォームの角度調整

1. フットプラットフォームを垂直にはねあげ、角度調整ねじを確認してください。図18参照。
2. 角度調整ねじを時計回りに回すとフットプラットフォーム前方が下がり、反時計回りに回すと上がります。

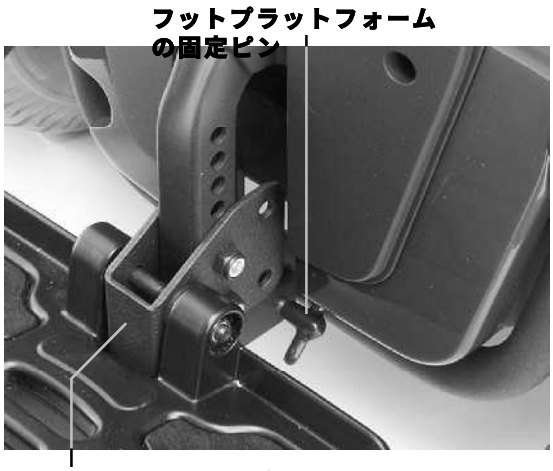


図17． フットプラットフォームの調整

Ⅴ. 快適に使用していただくための調整

図18． フットプラットフォームの裏側

コントローラーの左右付け替え

コントローラーは左右どちらの肘掛にも付けられます。

1. 電源を切ってください。
2. 後部トレイを開きコントローラーケーブルを4本とも抜いて　下さい。
3. コントローラーケーブルを固定しているプラスチックバンドを切ってください。
4. 肘掛を垂直に跳ね上げ、コントローラー固定ねじを緩めてください。(図19.参照。)
5. コントローラーをスライドさせ肘掛裏の固定ホルダーから引き抜いてください。
6. 逆側の肘掛の固定ホルダーにコントローラーを差し込んでください。
7. 固定ネジをしっかりと締め固定してください。
8. コントローラーケーブルが垂れたり挟み込んだりしないように2箇所以上プラスチックバンドで固定してください。
9. 後部トレイにコントローラーケーブルを4本とも差し込んで後部トレイを閉めてください。

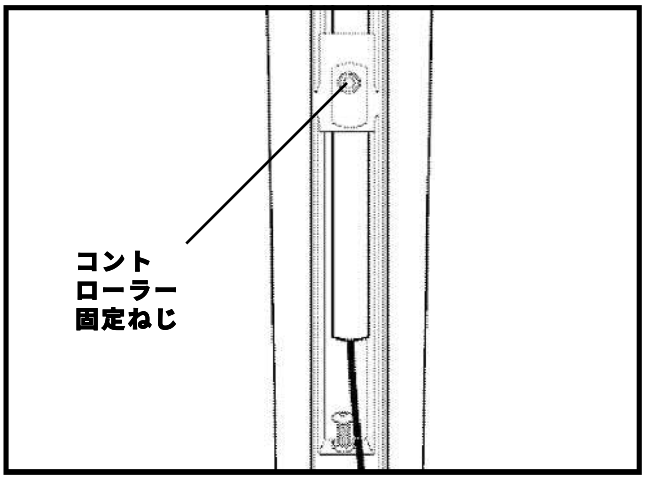


図19． アームレストの裏側

Ⅴ. 快適に使用していただくための調整

転倒防止前輪

転倒防止前輪は起伏のある路面での走行の安定性を向上させます。出荷時の前輪の高さはより多くの使用者にとって使用しやすいように設定されていますが、ご使用の環境や状況に合わせて、その高さを調整していただくことも可能です。

- **停止の際、極端に前に傾く感じがする。**
- **転倒防止前輪がいつも地面に接している。**

警告 転倒防止前輪の調整をする前に購入店、またはアルケアコーポレーションに相談をしてください。

警告 転倒防止前輪の高さを上げすぎると、停止時の前方への傾きが大きくなり、低くしすぎると操作性や故障、衝突の原因になります。シートの位置や重心が関係する調整ですので必ず購入店、またはアルケアコーポレーションに相談をするようにしてください

危険 転倒防止前輪を取外して使用することは絶対やめてください。

註： 転倒防止前輪を正しく調整するために駆動輪の空気圧は利用者が座った状態で2.4Bar/35psi程度を保ってください。

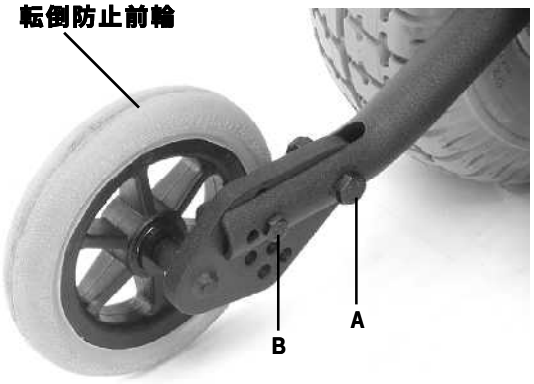


図22． 転倒防止前輪

転倒防止前輪の調整

1. ボルトAを緩めてください。図22参照.
2. ボルトBを取外してください。.
3. 転倒防止前輪を適当な高さに合わせてください。
4. ボルトBを取り付けてください。
5. ボルトAを締め付けてください。
6. もう一方の転倒防止車輪も同様にして同じ高さに合わせてください。

Ⅵ．バッテリーと充電

バッテリーと充電
ジェット３は １２Vディープサイクルバッテリーを２個使用しています。このバッテリーはメンテナンスや充電液の補充がいらない密閉型の鉛蓄電池です。 ディープサイクルのバッテリーは繰り返しの充電に優れ比較的寿命の永いバッテリーでもあります。同様の外見のバッテリーでも純正以外のバッテリーは決して使用しないで下さい。

警告　バッテリーに触れた後は必ず手を洗ってください。

充電器について
外付けの充電器により、バッテリーを安全に素早く、簡単に充電することができます。

警告

充電の際は延長コード等のご使用はおやめください。

充電の際は必ず本体の搭載型充電器をご使用ください。

充電方法
1．ジェット３をご家庭の壁の電源コンセントに近づけてください。
2．電源が切れていること、車輪開放レバーがロックされていることを確認してください。
3．ジョイスティックコントローラの裏の充電コードソケットに充電コードを差込んでください。
4．充電コードを壁の電源コンセントに差し込んでください。
5．赤いランプが点灯すればば充電をしている状態です。
6．８時間から１４時間充電してください。
7．緑のランプが点灯すれば充電完了です。
8．充電が終わりましたら充電コードを抜いてください。

Ⅵ．バッテリーと充電

よくある質問

充電器のしくみ
充電率が低いと充電器はより多くの電流をバッテリーに供給します。フル充電状態に近づくとバッテリーへの供給電流はどんどん減っていきます。バッテリーが完全に充電されると供給電流はほぼアンペアになり、過充電になるのを防ぎます。

充電できない場合は？
- 充電コードが完全に差し込まれているか確認してください。

充電の頻度は？
次の二つのことを考慮して、充電する頻度を決めてください。
- 毎日使用するのか
- 不規則、あるいはたまに使用するのか

充電不足や充電方法の誤りは故障や動作不良の原因となる場合があります。ジェット３の充電器は過充電を防ぐ機能を装備しておりますが、下記の手順に従うことで、バッテリーの安全性と信頼性をより高めることができます。
- 毎日使用する場合、その日の使用が終わり次第充電してください。8時間～１２時間充電をお勧めします。翌朝には充電が完了しています。
- 使用頻度が1週間に1度以下の場合、少なくとも1週間に1回は、１２時間～１４時間充電してください。
- 常にフル充電の状態を保つようにしてください。
- バッテリー残量が少なすぎる状態は避けてください。
- ２４時間以上の連続充電はしないでください。

「一回の充電で走行距離を延ばすには？」
走行する道路の路面や傾斜、気候条件、積載重量、その他によって、一回の充電で走行できる距離は違ってきます。一回の充電でできるだけ走行距離を延ばす方法をいくつかご紹介します。

- ご使用の前にフル充電してください。
- できる限り坂道、凸凹のある路面、柔らかい路面を避ける道順を選んでください。
- 荷物は必要最小限にしてください
- 走行中は平均速度を保つようにしてください。
- 急停止や急発進を避けてください。

Ⅵ. バッテリーと充電

公共の交通機関でのご使用

ご使用前に事前に管理機関に連絡することをお勧めします。

「バッテリーの種類とサイズは？」

メンテナンスのいらない密閉型鉛蓄電池をご使用ください。自動車のバッテリーなどは、長期の放電に対応するようには設計されておりませんので、ジェット３には使用しないでください。

警告　バッテリーの中には劇薬が入っています。液漏れや爆発等の原因になる場合がありますので指定された以外のバッテリーの使用はおやめください。

注: 密閉型鉛蓄電池のキャップは絶対に外さないでください。

バッテリーは以下の条件に合った弊社指定の製品をご使用ください。

型式	ディープサイクル・密閉型
電圧	12 V
容量	32AH

「新しいバッテリーなのにパワーが弱いような気がするのですが？」

初期性能が高温や低温の影響を受けることがあります。高温は充電量を低下させ、低温は電力供給を遅くさせるので、バッテリーの充電に通常より時間がかかることがあります。また、バッテリーが新しい環境の温度に慣れて安定するまでに２～３日かかることがあります。

バッテリーの性能を最大限に引き出すため、またバッテリーの寿命をできるだけ延ばすために、以下の項目にしたがってバッテリーを充電してください。

1. **バッテリーをはじめてご使用になる前に必ずフル充電をしてください。これによりバッテリーの最大性能のおよそ８８％を引き出すことができます。**
2. **はじめてご使用になる際は、できるだけ平らで安全な場所でご使用くださいまた、慣れていない場所やご自宅などからあまり遠い場所までのご使用は避けてください。バッテリーが十分に馴染んでいない状態で、負荷をかけすぎると破損することがあります。**
3. **ご使用になられた後は必ずフル充電をしてください。これで、バッテリーは最大性能の９０％以上を引き出すことになります。**
4. **再びジェット３をご使用ください。**
5. **その後、またフル充電をします。**
6. **４回～５回ほど充電と使用を繰り返していただきますと、バッテリーの最大性能を完全に引き出すことができ、また長くご使用いただけるようになります。**

Ⅵ. バッテリーと充電

バッテリーの交換手順 (交換する際は必ず両方のバッテリー共に交換してください)

バッテリーの取外し

1. 後部外装の固定ねじを回し後部前後左右の4本のシート固定ピンを引き抜き、シート部をパワーベースから取外してください。
2. 前カバーを固定しているピンを引き抜き、前カバーを持上げ、取外してください。
3. 外装の4本の黒い固定ピンを回して抜き、外装を持上げ取外してください。
4. バッテリーケーブル(赤い取手がついている方)を本体側コネクタから抜いて下さい。
6. バッテリーを持上げて取外してください。取り外してください。

バッテリーの交換

1. 古いバッテリーの端子からケーブルを外してください。
2. 新しいバッテリーの端子にケーブルをつないでください。
   - ■ 赤いケーブルを (+)につないでください。
   - ■ 黒いケーブルを (-) につないでください。
3. バッテリーを本体に戻しケーブルを本体側のコネクターにしっかりとつないでください。
4. 外装、前カバーを取り付けてください。
5. シートを元に戻してください。

バッテリーの廃棄とリサイクルについて

バッテリーの故障やバッテリーの寿命の際は、ご購入の販売店またはアルケアコーポレーションに直ちにご連絡ください。

「バッテリーの寿命をより延ばすためには？」

可能な限りフル充電状態を維持してください。長期間の充電不足の状態、不規則な充電、充電不足のままの保管などはバッテリーの性能を低下させバッテリーの寿命を短くします。

「バッテリーの保管方法は」

「Ⅷお手入れとメンテナンス」をご覧ください。

ＶＩＩ．　操作

ジョイスティックコントローラー
ジョイスティックコントローラーは電動車いすを操作するだけでなく、バッテリーの残量や電動車いすのコンディションを確認するための表示機能も備えています。

警告　故障、事故、怪我の原因となりますのでコントローラーの調整は、購入店、またはアルケアコーポレーションの指示の元に行ってください。

各部名称:
1．ジョイスティック
2．キーパッド
3．プログラマー接続ソケット
4．充電制御コネクタ
5．バッテリーコネクタ
5．モーターコネクタ
6．モーターコネクタ

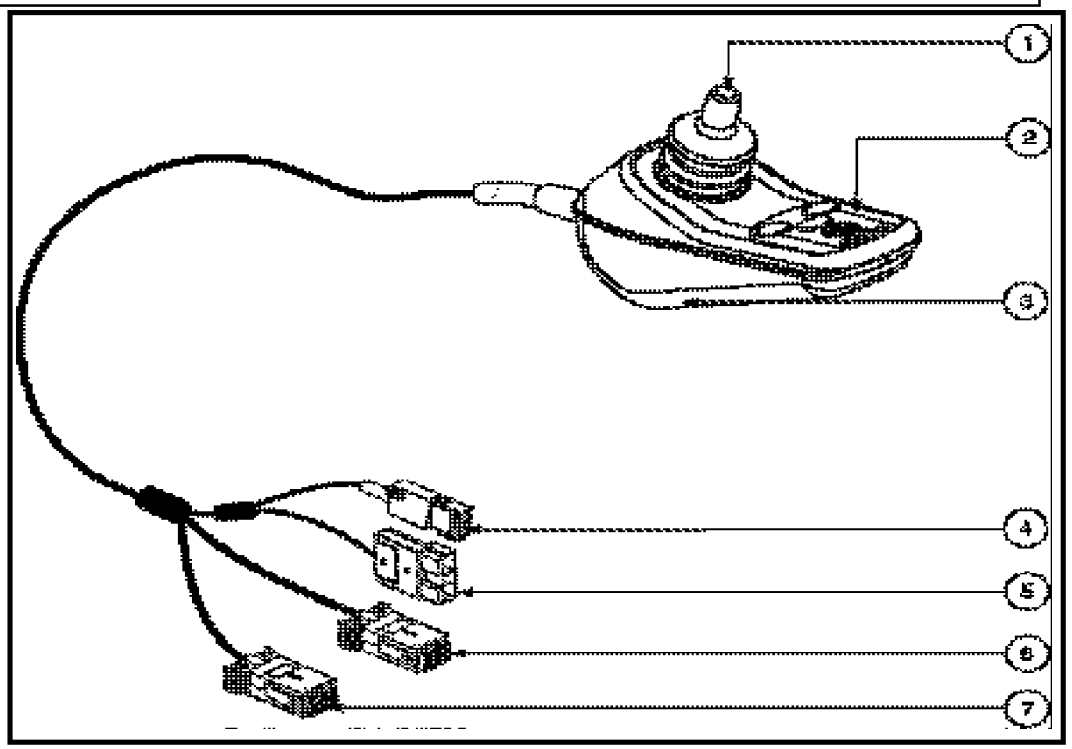


図23．　ジョイスティックコントローラ

ジョイスティック
ジョイスティックは電動車いすの走行方向と速度をコントロールします。傾けた方向に動き、深く傾ければ速く、軽く傾ければ遅く動きます。手を放すとジョイスティックは中央のニュートラルの位置に戻り電動車いすは 停止し、車輪が電磁ブレーキによりロックされます。

警告　もし電動車いすが操作中に予期せぬ動きをした場合は、速やかにジョイスティックから手を放し停止させてください。

キーパッド
キーパッドは電動車いすを操作するために必要な部分です。図 24参照。

ＶＩＩ．　操作

オン／オフ　キー
電源をオン/オフします。

> **警告　緊急に停止しなければならない場合以外、走行中にオン/ オフキーを押さないで下さい。**
>
> **警告　　予測しない動作をした場合は、速やかに電源を切ってください。**

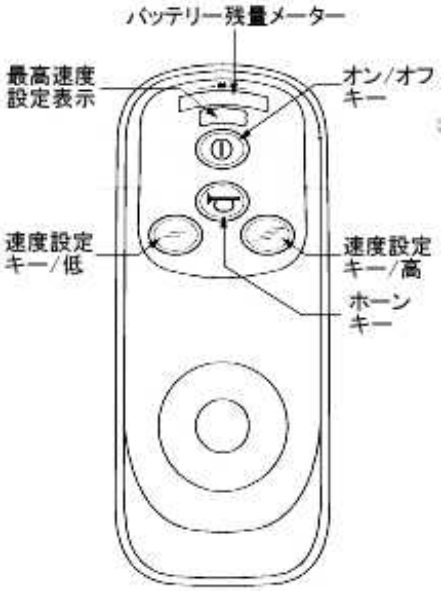


図24．　コントローラーキーパッド

バッテリー残量メーター
赤、黄、緑の１０個のフラッシュＬＥＤによりバッテリーの残量を表示します。

- **赤、黄、緑が点灯しているとき:**
  バッテリーは充分に充電されています。
- **赤と黄が点灯しているとき:**
  なるべく早く充電してください。
- **赤だけが点灯、ゆっくりと点滅:**
  速やかに充電してください。
- **速い点滅:**

電気系統にトラブルがあります。エラーコード表参照。

- **ＬＥＤが増減を繰り返す:**

ジョイスティックがニュートラルの位置にありません。一度電源を切りジョイスティックが中央の位置にあるのを確認してください。

註: それでも改善されない場合は購入店、またはアルケアコーポレーションまでお問合せ下さい。

速度設定キー
最高速度の設定をします。右のキーを押すと高速に、左のキーを押すと低速になります。

註: 操作に慣れるまでは最低速に設定して使用してください。

ＶＩＩ．　操作

ホーンキー
クラクションホーンが鳴ります。

ロック/ ロック解除
このコントローラには、盗難やいたずら防止のためのロック/ロック解除機能が装備されています。

ロックするには:
1．オン/オフキーを押して電源を入れます。
2．もう一度オン/オフキーをビープ音がなるまで押し続けます
3．ジョイスティックを前に傾けます。ビープ音が鳴ります。.
4．ジョイスティックを後に傾けます。ビープ音が鳴ります。
5．ジョイスティックを放すと長いビープ音が鳴ります。
6．コントローラーはロックされました。

ロックを解除するには:
1．オン/オフキーを押し電源を入れます。この時、最高速度設定表示のＬＥＤの点灯が増減を繰り返します。
2．ジョイスティックを前に傾けます。ビープ音が鳴ります。
3．ジョイスティックを後に傾けます。ビープ音が鳴ります。
4．ジョイスティックを放すと長いビープ音が鳴ります。
5．コントローラーはロックは解除されました。

註: もし以上の操作をしてコントローラーがロック及びロック解除できない場合は、購入店またはアルケアコーポレーションへお問合せください。

プログラマー接続ソケット
プログラマーボックスやオフボード充電器のコネクタの差込口です。詳細は購入店またはアルケアコーポレーションへお問合せください。

ＶＩＩ．　操作

注意　　**故障、事故の原因となりますのでコネクタや配線の接続が確実にされているのを確認してください。**

サーマル・ロールバック
ご使用のコントローラーには熱や過電流から製品を守る「サーマル・ロールバック」機能が装備されています。６０℃以上の温度、５５アンペア以上の電流が流れた場合自動的にモーターや電気系統の動作を制御することで製品を守ります。

エラーコード
ご使用のコントローラーにはトラブルをエラーコードで判断する機能が装備されています。バッテリー残量メーターの点滅するLEDの数によりトラブルの原因を判別出来ます。もしこれらのコードでトラブルが解明できない場合は 購入店またはアルケアコーポレーションまでご連絡ください。

点滅LED	診断と解決方法
1	バッテリーまたはバッテリーの接続に問題があります。 バッテリーの接続を確認し、問題がなければバッテリーを交換してください。
2	左モーターの接続に問題があります。 左モーターの接続を確認してください。
3	左モーターからバッテリーへの接続に問題があります。購入店またはアルケアコーポレーションへお問合せ下さい。
4	右モーターの接続に問題があります。 右モーターの接続を確認してください。
5	右モーターからバッテリーへの接続に問題があります。購入店またはアルケアコーポレーションへお問合せ下さい。
6	充電器が作動しています。 充電コードが差し込まれていないか確認してください。
7	ジョイスティックに問題があります。 ジョイスティックが中央の位置にあるか確認してください。
8	コントローラーに問題があります。しっかりと接続されているか確認してください。
9	ブレーキの接続に問題があります。ブレーキとモーターの接続を確認してください。
10	コントローラーの接続を確認してください。 コントローラーに過度の電圧がかかった恐れがあります。 バッテリーの接続を確認してください。

VIII．お手入れとメンテナンス

ジェット３には最小限のお手入れとメンテナンス（保守・点検）が必要です。
定期的な点検、メンテナンスを必要とする個所について説明します。

タイヤの磨耗

- タイヤの磨耗を１ヶ月毎に定期点検してください。
- 市販のタイヤを長持ちさせる保護剤をタイヤの側面のみにご使用ください。.

危険 スリップや転倒の原因となりますので、タイヤ保護剤は路面に接する部分には決して塗布しないでください。

外装

- 外装には市販されているツヤ出しの保護スプレーを塗布すると良いでしょう。

危険 滑りやすくなり非常に危険ですので、ゴムやビニールの保護剤をシートに塗布しないでください。

- 外装の材質は耐久性に優れたＡＢＳプラスチックです。
- 軽くカーワックスを塗ると表面の輝きが保てます。

接続コネクタ

- すべてのケーブルやコネクタの接続部を月に１度か2度、目視または触れて点検してください。
- コネクタやケーブルに劣化や破損が見つかった場合は、販売店またはアルケアコーポレーションに修理・交換を依頼してください。

ベアリングとモーター駆動装置

- これらの部品は潤滑油内封タイプで、購入後の潤滑剤の補給は必要ありません。

操作パネル・充電器・電気系統

- 操作パネル・充電器・電気系統には水をかけないでください。。
- 水に濡れた場合は、乾いた布で水分をふき取り、完全に乾燥させてからご使用ください。

保管

2週間以上、使用しない場合は、次の項目を守って保管してください。

- 保管の前にバッテリーをフル充電してください。
- バッテリーを外してください。
- 乾燥した温かい場所に保管してください。
- ４５度以上の高温や氷点下のような極度な低温の場所には保管しないでください。

警告 凍結したバッテリーは決して充電しないでください。低温あるいは凍結したバッテリーは、数日間暖かい場所に置いてから充電してください。

長期間保管する場合、フレームの下に板などを引きタイヤを浮かせることでタイヤを長持ちさせることが出来ます。

VIII. お手入れとメンテナンス

毎日の点検

- 電源をオフにした状態で、ジョイスティックを点検してください。 曲がったり損傷していないか、ニュートラル(中央)のポジションに戻るかを確認してください。ジョイスティックの根本のゴムに損傷が無いか確認してください。もし異常があるようなら、購入店またはアルケアコーポレーションへご連絡ください。
- コントローラーのケーブルが損傷がないか確認してください。もし異常があるようなら、購入店またはアルケアコーポレーションへご連絡ください。
- タイヤに平になってしまっている部分がないか確認してください。

週に一度の点検

- コントローラーのコネクターを接続ソケット から抜き、錆びや損傷が無いか確認してください。もし異常があるようなら、購入店またはアルケア　　コーポレーションへご連絡ください。
- すべてのパーツがしっかりと固定されているか確認してください。 ただし、ねじは強く締めすぎないでください。
- ジョイスティックを操作していつもと違う動きをしたり、正確に動かない場合は速やかにジョイスティックから手を離し、電源を切り、再度電源を入れててみてください。それでも解決しない場合は、購入店またはアルケアコーポレーションへご連絡ください。
- ブレーキの点検をしてください。 この点検は1ｍ四方の平らな場所で行ってください。

ブレーキの点検手順:

1. 電源を入れ、速度を最低速に設定します。
2. ゆっくりと浅くジョイスティックを前方に傾けます。電磁ブレーキがカチッというクリック音が聞こえたらすぐに手を放します。これを3度行ってください。
3. 同様にジョイスティックを後、右、左に傾け、3度ずつテストしてみてください。電磁ブレーキのクリック音はジョイスティックを傾けると2、3秒で聞こえ、ジョイスティックを離したときにも聞こえるはずです。もし電磁ブレーキのクリック音が聞こえないようなら、ご使用は控えてすぐに購入店またはアルケア コーポレーションへご連絡ください。

月に一度の点検

- 駆動輪が擦り切れていないか点検してください。
- キャスター前輪が擦り切れていないか点検してください。
- キャスターのフォークに損傷やがたつきがないか点検してください。その場合、調整やベアリングの交換が必要かもしれませんので、購入店またはアルケアコーポレーションへご連絡ください。
- 泥、ほこり、髪の毛、食べ物、飲み物などで汚れていたら掃除し、清潔に保つように心がけてください。

保管

温度変化の少ない日陰などで乾燥した場所で保管するようにしてください。長期間保管する場合は、バッテリーを電動車いすから取外して保管してください。「VI.バッテリーと充電」参照。

警告　フレームの破損や電気系統の故障の原因となりますので、湿気や気温変化の激しいところでのバッテリーの保管はおやめください。

VIII．お手入れとメンテナンス

クリーニングの方法

警告 ホースで直接水をかけたり、水の中に入れたり決してしないでください。外装は湿らせた布で軽く拭いけば汚れが落ちます。

警告 滑り、ひび割れ等の原因となりますので、シートを薬品で拭かないでください。石鹸水を使用しよく乾かしてご使用ください。

タイヤ/ホイールの交換

タイヤは簡単に交換することが出来ます。交換用のタイヤは販売店又はアルケアコーポレーションで購入できます。

警告 怪我や事故の原因となりますので、作業を行う前に必ず電源を切り、車輪がロックされている状態なのを確認してください。

簡単なタイヤ交換の方法

1. コントローラーの電源を切ります。
2. 電動車いすを手ごろなブロックの上に乗せます。
3. タイヤハブからドライブホイールナットを取り外します。図25.参照。
5. タイヤをシャフトから引き抜きます。
6. リムのねじを5本とも緩め外します。図26.参照。
7. タイヤを新しいものに交換します。
8. リムを再びタイヤにあわせねじで締めます。
9. タイヤをシャフトに戻します。この時、シャフトのスロットにキーをはめるのを忘れないようにしてください。図25.
10. ドライブホイールナットをタイヤハブに締め付けます。
11. 電動車いすをブロックからおろします。

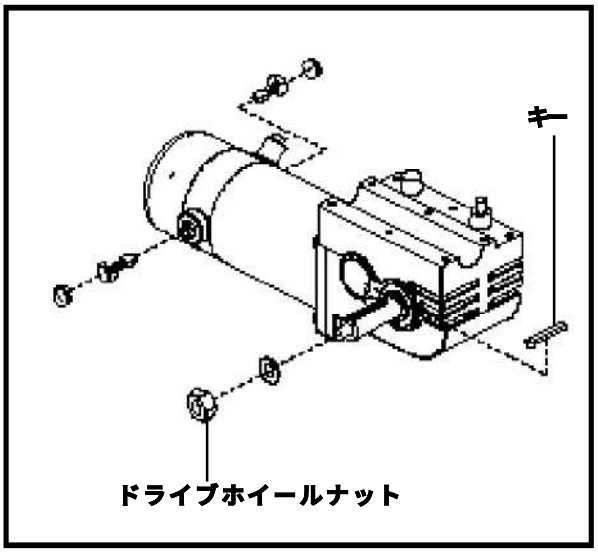


図25． モーター

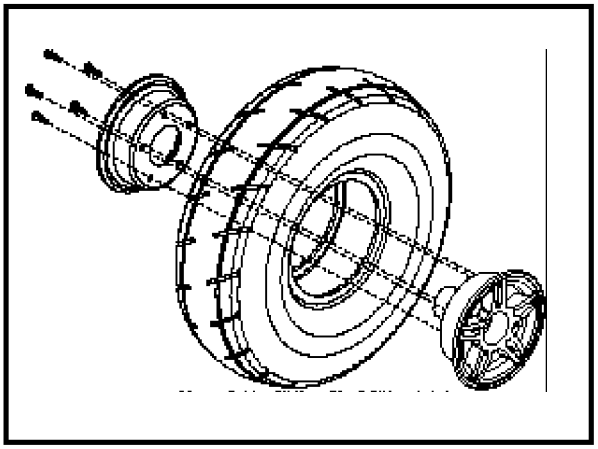


図26． ジェット3　駆動輪

VIII．お手入れとメンテナンス

バッテリーの交換

バッテリーのつなぎ方はバッテリートレイ正面のシールに書かれています。図28．参照。使用するバッテリーについては「 VI.バッテリーと充電」をご覧ください。

警告 事故や怪我の怪我の原因になりますので、シートに人やものが置かれた状態でバッテリーを交換しないでください。

警告 バッテリーの端子及びその周辺には鉛を含む物質が付着している場合がありますので、取り扱いの際には手袋など使用するようにし、取り扱い後は必ず手を洗ってください。

警告 バッテリーの重量を良く確認し、取り扱いに注意してください。

バッテリー交換の方法:

1. コントローラーの電源を切ってください。
2. 車輪がロック状態であることを確認してください。「 III. ジェット3」参照。
3. 後部外装の固定しているねじを回して緩めてください。 図 6.参照。
4. 後部外装をはずしてください。
5. バッテリーコネクターを外してください。図 27.参照。
6. フットプラットフォームの固定ピンを引き抜き、フットプラットフォームを持ち上げながら取り外します。図17.参照。
7. バッテリートレイをスライドさせ取り出します。
8. 前バッテリーにまかれた黒いストラップをはずします。
9. 前バッテリーのケーブルを取りはずします。
10. 前バッテリーを取りだします。
11. 後バッテリーにまかれた黒いストラップをはずします。
12. 後バッテリーのケーブルを取りはずします。

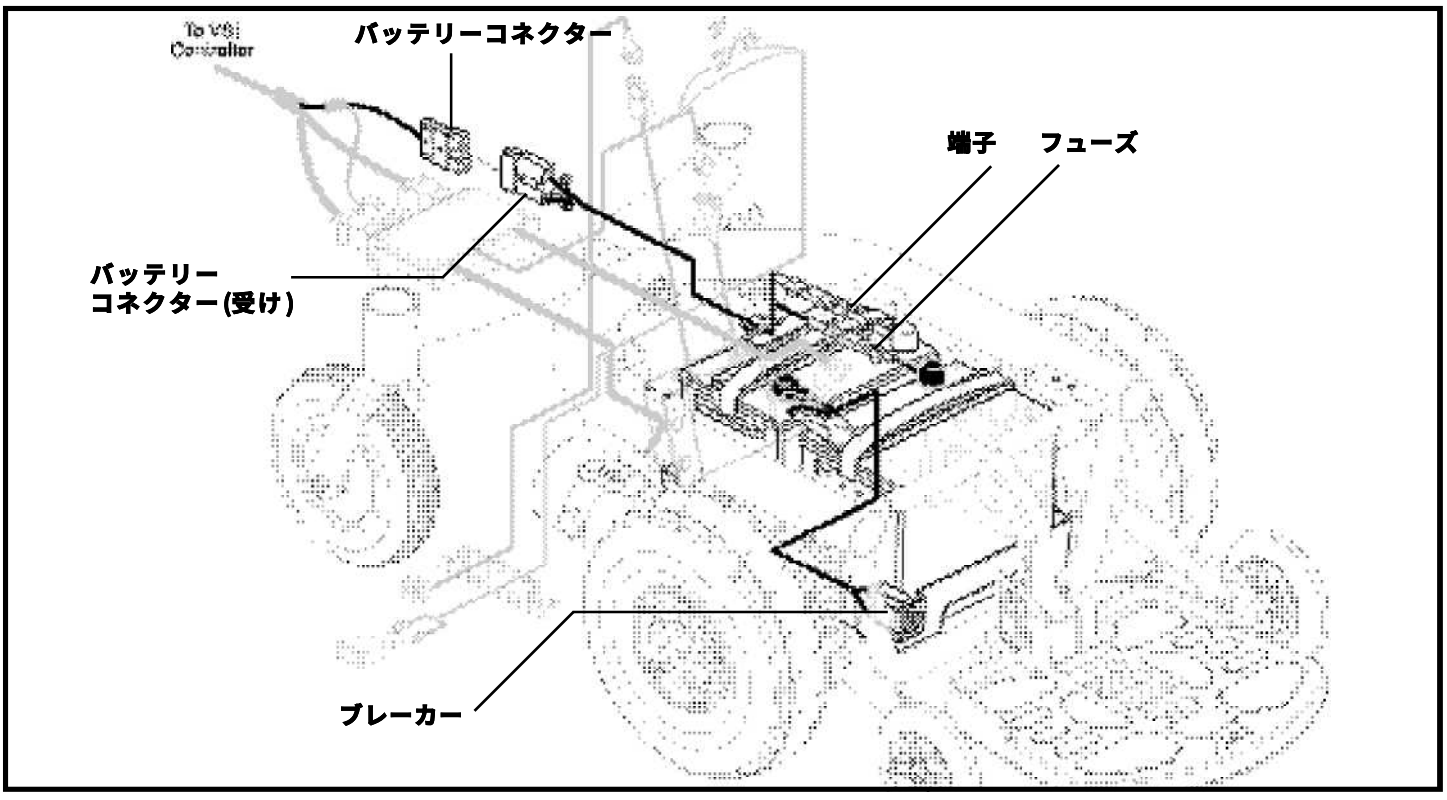


図27． ジェット3 バッテリー接続図

VIII．お手入れとメンテナンス

13. 後バッテリーをとりだします。
14. 新しいバッテリーを一つバッテリートレイ後側におきます。この時、端子が前に向くようにで置いてください。
15. 後バッテリーのストラップをはめてください。
16. バッテリーケーブルをバッテリーにつないでください。図 27、28参照.

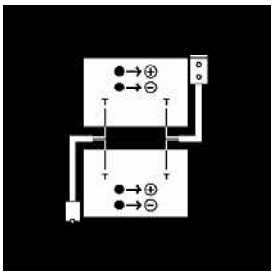


図28　バッテリー配線図

警告 故障や事故の原因となりますので．純正以外のケーブルなどは決して使用しないでください。

17. 新しいバッテリーを一つバッテリートレイ前側におきます。この時、端子が後に向くように置いてください。
18. 前バッテリーのストラップをはめてください。
19. バッテリーケーブルをバッテリーにつないでください。図 27、28参照.

警告 故障や事故の原因となりますので．ストラップはしっかりとしめ、配線が外れたりしないようにしてください。

20. バッテリートレイごと本体にスライドさせ戻してください。.

註: パワーポッドが邪魔しないようによけながら入れてください。

21. フットプラットフォームを取り付けてください。
22. バッテリーコネクタをつないでください。
23. 外装をかぶせ固定ねじで固定してください。
24. バッテリーを充電してください。「 VI. バッテリーと充電」参照。

販売店またはアルケアコーポレーションへの連絡が必要な場合

以下のような症状が出た場合、電動車いすに故障や問題がある場合がありますので、販売店またはアルケアコーポレーションまでご連絡ください。その際にモデル名、シリアルナンバー、問題の症状、出来ればエラーコードをお知らせください。

- モーターのノイズ
- 破損したコネクタ
- 操作していないのに動く
- ホイールが曲がったり破損したりしている
- 電源がオンになっても動かない
- ケーブルの擦り切れ
- タイヤにゆがみなどがある
- 走行中片側に寄っていく
- 電源がオンにならない

電源をオンにしてもバッテリー残量メーターが点灯しなかったら

もし電源をオンにしてもバッテリー残量メーターが点灯しなかったら以下を確認してください。

- ケーブル類がしっかりと接続されているか確認してください。
- ブレーカーを押してみてください。
- バッテリーの接続を確認してください。

もし以上を確認しても解決されない場合は、販売店またはアルケアコーポレーションまでご連絡ください。

ＩＸ．　保証

１年間保証

材質や製造課程に欠陥があると認められた場合のみ、あらゆる部品の修理・交換を購入期日から１年間無償で行ないます。

販売店またはアルケアコーポレーション・サポート係へお問い合わせいただく前に、欠陥部品や車両本体の返送はしないでください。その場合､送料および輸送中の損害は購入者の責任になります。

保証適用除外

- **ＡＢＳプラスチックボディとデッキカバー**
- **バッテリー**
- **タイヤ**
- **シートカバーとシート**
- **購入者が販売店を通さずに修理や改造を行なった場合の製品全体**
- **特殊な気候条件や路面環境での使用**
- **バッテリーの液漏れ、誤った操作、事故、不注意、誤ったメンテナンスや保管方法、商業使用等の通常の使用目的以外の使用、この説明書の指示に従わない使用方法、危険な場所での走行による故障、損害、事故については補償の対象外となります。**
- **保証期間を過ぎた製品の修理費・訪問サービス費用・送料など**

N O T E S

N O T E S

N O T E S